

SHINSHU KYODAN RENGŌ
真宗教団連合 - その2

【真宗高田派 専修寺】

親鸞聖人は、関東各地を御教化中に、明星天子の夢のお告げを得て、54歳の時、栃木県真岡市高田の地に一字を建立し、専修念仏の根本道場とされました。本尊には、長野の善光寺からお迎えした一光三尊仏を安置し、聖人門弟の中のリーダーであった真仏上人が管理に当られました。ここを中心とした教団は、関東各地の門徒の中で最も有力な教団となり、京都へ帰られた聖人からは、しばしば自筆のお手紙や、ご自分で書き写された書物などが送られてきました。

その後、高田教団は次第に発展し、専修寺は、本寺と呼ばれて全国に崇敬を集めるようになりましたが、それを一段と飛躍させたのが第十世真慧上人で、東海・北陸方面に教化を弘めると共に、朝廷の尊崇を得て、専修寺は皇室の御祈願所ともなりました。

一身田の専修寺はその真慧上人が伊勢国内の中心寺院として建てられたのですが、関東の本寺が兵火によって炎上したりしたため、歴代上人がこちらに居住されるようになって、ここが本山として定着しました。

一身田専修寺の伽藍は二度の火災に遭いましたが、立派に再建され、住持には皇族をお迎えして、門徒の崇敬はますます高まりました。数多い聖人のご真筆類は、今も大切に伝持され、教団の誇りとなっています。



如来堂 (によらいどう)



御影堂 (みえいどう)



御廟拝堂・御廟唐門及び透塀

今後の法要スケジュール

「除夜会」 (善教寺鐘楼堂)

十二月三十一日 (木) 午後十一時四十五分
* 鐘楼堂にて除夜の鐘を撞きます。

「元旦会」 (善教寺本堂)

一月 一日 (金) 午前七時

「御正忌法要」 (善教寺本堂)

一月 九日 (土)

午前九時 ~ 読経 (正信偈)

午前九時半 ~ 朝席法話①

午前十時半 ~ 朝席法話②

講師 長尾量之師

(東広島市黒瀬町 浄願寺)

「宗祖聖人月忌」

門信徒祥月命日法要 (善教寺本堂)

一月 十六日 (土) 午後一時半

* 毎月十六日に本堂において勤めております。

本堂内の換気を徹底し、参拝者にはマスク着用及びアルコール消毒液の使用をお願い致します。



ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

メール zenkyo@otera.or.jp